（４）スポーツ

第４章	スポーツ	第１節	豊かな心身を育むスポーツの振興		
施策１	スポーツ活動の促進			担当課係	生涯学習課青少年・スポーツ係

１　推進方策および今年度の取組内容

●スポーツに親しむための場の提供と情報発信

・年齢や経験に関わらず、健康と生きがいづくりのため誰もが気軽にスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ施設の指定管理者と連携し、各種目の初心者教室等を開催する。また、モルック大会の開催などのニュースポーツの普及にも取り組んでいく。

主な取組内容	R6	健康づくり教室（卓）90回1,728人、高齢者運動教室（ふまねっと等）30回403人など
	R7	健康づくり教室247回1,026人、高齢者運動教室（体操教室等）43回190人などを実施。
	R8	
	R9	
	R10	

●スポーツ団体の育成と活動支援

・学校開放事業の実施や伊達市スポーツ協会を通じ各種競技団体の活動を支援し、競技の普及促進を図るほか、各種団体の全道・全国大会参加への経済的支援（補助金）を行う。また、スポーツクラブの活動を支援し、地域部活動を行う生徒の活動機会の確保や技術・体力の向上に取り組む。

主な取組内容	R6	スポーツ少年団22団体と2大会への助成。学校開放8校52団体、延べ2,697回42,165人利用
	R7	スポーツ少年団24団体と2つの大会助成。学校開放8校を53団体、延べ2,689回42,929人利用。
	R8	
	R9	
	R10	

●各種スポーツ大会の開催支援

・指定管理者と連携して父ちゃん野球大会やニュースポーツ大会を開催し、地域間、世代間交流を図りながらスポーツに取り組める機会を提供する。また、実行委員会事務局を担っているハーフマラソンについて、より安全な運営ができるよう検討する。

主な取組内容	R6	父ちゃん野球225人、ﾊﾟｰｸ3回122人、ﾄﾘﾑﾊﾞﾚｰ79人、モルック103人、ﾚﾃﾞｨｰｽﾊﾞﾚｰ112人
	R7	父ちゃん野球233人、ﾊﾟｰｸ4回182人、ﾄﾘﾑﾊﾞﾚｰ85人、モルック125人、ﾚﾃﾞｨｰｽﾊﾞﾚｰ112人が参加。
	R8	
	R9	
	R10	

●スポーツ指導者の養成と確保

・青少年期のスポーツ活動は、各々の心身の発達に合わせた取り組みと技能向上のみならず、集団活動を通じた社会性を身に付けることが重要である。そのためには適切な指導を行えるスポーツ指導者が必要であるため、伊達市スポーツ少年団本部への支援を通じて指導者の養成と資質の向上に取り組む。

主な取組内容	R6	リーダー養成は2事業14人、指導者育成（研修会の開催）3回57人
	R7	リーダー養成は2事業14人、指導者育成（研修会の開催）3回57人
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2 施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎推計人口に対する総合体育館における各種スポーツ教室への参加者数の割合									
参加割合	136.10%	109.9%	125.2%	129.4%			140.00%	b	
参加者数	47,063人	35,693人	40,167人	41,030人			42,899人		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3 施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
B	・各種大会や教室等の参加者数は、指定管理者の自主事業回数の増により着実に増加している。 ・利用者ニーズに応じた各種スポーツ機会の提供は、スポーツ少年団本部及び地域体育振興会の協力により、青少年や地域スポーツ活動の普及促進は図っているが、人口減少の影響もあり効果は現状維持に留まっている。
取組を進める上での課題と対応方針	
・スポーツ施設の有効活用のため、指定管理者と定期的に協議を行い、幅広い年齢層を対象とした各種事業を提案するとともに、ニュースポーツの普及や各種スポーツ・レクリエーションを楽しめる機会と活動環境の整備・充実を図る。 ・各種目に対応した指導力の向上と指導者の育成は、スポーツ少年団本部の協力を得ながら、それをサポートする。	

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	4	2	部活動地域移行補助金	24,795		
	9	5	1	スポーツ少年団活動補助金	848		
	9	5	1	学校施設開放事業経費	2,367		

第4章	スポーツ	第1節	豊かな心身を育むスポーツの振興	
施策2	スポーツ施設の整備・充実		担当課係	生涯学習課青少年・スポーツ係

1　推進方策および今年度の取組内容

●各施設の状況に応じた管理及び運営内容の充実

・各施設の主な設置目的に沿った供用はもちろんのこと、空き時間帯にスポーツ以外の団体や用途に供するなど、各施設の内容を考慮しながら有効活用を推進する。

主な取組内容	R6	武道館でのダンス他、関内PGの冬季営業試行、アルトリPGではモルック大会が開催された。
	R7	武道館での体操教室、関内PGの冬季営業のほか、館山球場やアルトリPGではモルック大会が開催された。
	R8	
	R9	
	R10	

●施設及び備品の修繕・更新計画の策定

・老朽化が進む施設はもちろんのこと、供用開始から日が浅い施設についても、近い将来に相当の修繕や更新を行わなければならない施設の箇所、備品等の修繕・更新計画の作成に向けた準備を指定管理者と連携して行う。

主な取組内容	R6	総合体育館屋根補修（275千円）、総合体育館非常放送設備（1,738千円）、サッカーゴール（460千円）
	R7	総合体育館消火設備修繕（1,320千円）、温水プールろ過ポンプ交換工事（1,485千円）
	R8	
	R9	
	R10	

●指定管理者制度の推進とサービスの向上

・直営で管理している、まなびの里サッカー場の指定管理者制度への移行に向けて検討を行う。
　また、指定管理者が運営管理する施設においては、スポーツ用品や飲食物の販売などで利用者へのサービス向上を図る。

主な取組内容	R6	ｻｯｶｰ場指定管理は協議中。総体でのラケット（バド）のガッド交換、ソフトクリームの販売が行われた。
	R7	ｻｯｶｰ場指定管理は協議中。総体ではバドミントンラケットのガッド交換、ソフトクリームの販売が行われた。
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

主な取組内容	R6	
	R7	
	R8	
	R9	
	R10	

2 施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定（H29）	中間年度（R5）	R6	R7	R8	R9	目標年度（R10）	取組評価	出典等
◎推計人口に対するスポーツ施設等の延べ利用者数の割合									
利用者割合	1105.44%	855.0%	898.4%	910.7%			1110.00%	b	
利用者数	382,250人	277,690人	288,106人	288,731人			340,126人		
◎									

■取組評価指標　a：順調　b：概ね順調　c：やや遅れている　d：遅れている　－：評価不可

3 施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
B	指定管理者による自主事業実施回数の増により、施設の利用促進が図られ、市民の健康・体力づくりに資することができた。
取組を進める上での課題と対応方針	
・より多くの市民にスポーツ施設を利用してもらえるよう、指定管理者と定期的な協議を行い、健康・体力づくりに関する情報発信及び健康意識の啓発とニーズに沿った教室を展開することで、来館者数の増加を図る。 ・健全な利用環境を維持するため、施設を計画的に改修することで、利用者の安全確保と満足度向上を目指す。	

■達成度評価指標　A・・達成、完了　B・・達成に向け進捗あり　C・・着手したが遅延している　D・・未着手
－・・評価不可

予算書上の細目名等	款	項	目	事業（細目）名	決算額（千円）	摘要	
	9	5	2	まなびの里パークゴルフ場運営管理委託費	9,987		
	9	5	2	まなびの里サッカー場維持管理費	7,150		
	9	5	2	スポーツ施設運営管理費	135,346		